

2017.12.21

内部監査が終了しました

～目次～

内部監査が終了しました。

1 ページ

内部監査での有効事例の紹介

2 ページ

市民公開講座を開催しました。

3 ページ

1 月期運用管理点検のお願い

4 ページ



11月に平成29年度の内部監査を実施しました。

監査チームは、内部監査・スキルアップ研修に合格した内部監査員の資格を持つ教職員で編成しました。(1チーム4～5名ずつ計5チーム)

監査は、実地監査前に被監査部局等へチェックリストを送付、回答されたチェックリストを基に各内部監査チームでどういった監査を実施したらよいか検討(レター監査)を行い、その後実地監査に臨むという方法により実施しました。

附属病院で普段勤務している教職員が医学部へ、医学部で勤務している教職員が附属病院へ赴き、実地の監査を行いました。EMS文書に基づいた指摘もあり、EMSについての認識がさらに深くなる内容の濃い監査となりました。

監査結果は、有効事例が39件、観察事項が14件でした。今後は、指摘された観察事項について対応していくこととなりますので、確認、改善する事項についてはEMS推進員を通じて依頼をしますので、その際にはご協力方よろしくお願ひします。

内部監査員の皆さま、被監査部署の皆様、ご協力ありがとうございました。

出雲キャンパスEMS
実施委員会

医学部及び附属病院
EMS対応委員会



実際の監査の様子



～内部監査での有効事例を一部紹介します～

11月に実施した内部監査では、独自の工夫をこらした有効な取組をされている部署がありました。その中の一部を紹介します。

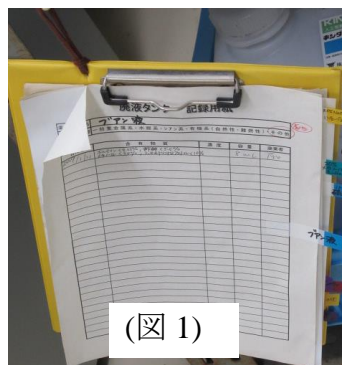
<免疫学講座>

免疫学講座では、独自に廃液タンク記録用紙を作成し、廃試薬ごとに廃液を記録するようにされていました。搬出廃液が明確に、かつスムーズに廃液回収の手続きができるよう工夫されています。

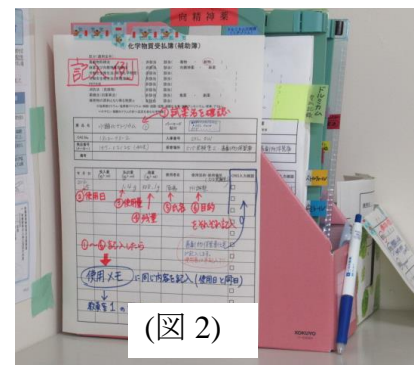
(図 1)

また、試薬の補助簿も具体例がわかりやすく表示されており、大変使いやすいものになっていました。

(図 2)



(図 1)



(図 2)

市民公開講座を開催しました

環境教育・環境研究作業部会では、本学の環境研究成果を地域に還元する一環として平成19年度より毎年1回、環境に関する市民公開講座を開催しています。平成29年度は11月11日（土）14:00-15:30に出雲キャンパス講義棟1階国際交流ラウンジを会場に「身近な生活環境と健康-発明を通じた環境にやさしい暮らし-」と題して開催しました。

今回は、島根大学産学連携センター地域医学共同研究部門教授・医学部兼任教授である中村守彦先生による発明や産学連携の立場から、環境と健康をテーマとした講演をして頂きました。中村先生は、臨床医学および基礎医学の経験を活かして医工連携や医農連携を推進する、全国的にみてもユニークな専任教員でいらっしゃいます。

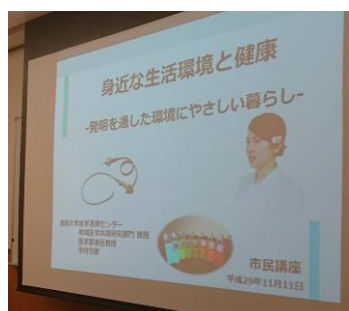
中村先生からは、発明や開発に至る着想や経過、特許取得の流れについて、大変分かりやすくご講演頂きました。中では、環境負荷の少ない製品の開発は健康にも通じている事例が紹介されました。例えば、洗剤を使わない電解水洗濯機は、洗剤をつかわないため環境にやさしいだけでなく、洗剤にアレルギー反応をもつ患者さんからアレルギー反応がなくなったと好評を得ており、まさに環境と健康に“やさしい”開発だった事が紹介されました。また、折り畳み式採血台は、必要な時のみ広げて使うことができ、平時には空間の節約につながる事、また採血者の動線の確保や短縮につながることで作業効率の改善になり、医療安全につながっていく事が報告されました。この他、発明や特許につながった、たくさんの事例のご紹介を頂き、これらを通じた環境と健康への貢献を理解できる時間となりました。島根大学発信でたくさんの発明や特許取得がなされていることが紹介され、本学の底力を感じた講演会でした。

医療現場の素朴な要望や疑問を集め整理し、製品開発への道筋を立てられた経緯は、まさに医学との連携を形にされた展開でした。また、製品化にあたっては、大企業でなく、地元企業と連携して、入念な打ち合わせと微に入り細に渡る工夫を凝らし、ユーザーの使いやすさにこだわったものづくり、産学連携共同開発の実践が報告されました。

今回の参加者は37名で、講演の後、活発な質疑応答が交わされ、発明を通じた環境と健康に関する市民の皆様の関心の高さが伺えました。

今後も本学のEMS活動を市民の皆様に広く知って頂けるよう、こうした公開講座を継続して開催していきたいと思えます。

ご参加頂きました皆様に厚く御礼申し上げます。



市民公開講座の様子

1月期運用管理点検のお願い

1月は、EMS活動について実施できているかどうかのチェックをEMS推進員の方を通じてお願いしています。

EMS推進員の方は、HPのアンケートに回答する形で入力をお願いします。Web運用管理点検は1年に2回(7月期と1月期)ですが、部署での活動を見直すチャンスとし、ごみの分別やマニュアルの掲示等実施できていない項目等については、この機会に改善をお願いします。

1月初めに各EMS推進員の皆様にメールにて点検を依頼します。締め切り:1月31日(水)
※入力はインセンティブポイント実績の対象となりますので、よろしくお願いします。

運用管理点検票 (出雲キャンパス)

2018年1月期 運用管理点検

※締め切り:1月31日(水)

※医学部EMS推進員と附属病院EMS推進員とアンケート入力サイトが分かれていますのでご注意ください。

☆医学部EMS推進員はこちら↓↓

3つのカテゴリーすべてお答え下さい。

(実験室がない部署は生活系とエネルギー系のみ回答してください)

生活系

エネルギー系

実験系 (実験室がない部署は結構です)

☆附属病院EMS推進員はこちら↓↓

3つのカテゴリーすべてお答え下さい。

(診療行為がない部署は生活系とエネルギー系のみ回答してください)

生活系

エネルギー系

診療系 (診療行為がない部署は結構です)

EMS事務局からのお知らせ

EMS事務局では、みなさんから省エネのアイデアを募集しております。

我が家での成功例など大学での省エネに有効なものがありましたら以下のEMS事務局までお寄せいただきたいと思います。ご協力をよろしくお願いします。

学内関係者用には、EMS関係会議の議事録、EMS研修の資料、環境に関する諸規則・マニュアル等が参照できますのでご利用ください。

その他、EMSに関するご意見等ございましたら、以下の連絡先又はホームページ「キャンパス環境投書箱」へお寄せください。

○島根大学出雲キャンパス EMS 事務局
医学部会計課施設管理室環境マネジメント担当
TEL 0853-20-2549
FAX 0853-20-2049
E-Mail fpd-ikankyo@office.shimane-u.ac.jp

○島根大学ホームページ「環境マネジメントシステム」
出雲キャンパスでのEMS活動内
キャンパス環境投書箱
<http://www.leaf.shimane-u.ac.jp/enquete/no/UYAOLZ044j>

